

事務事業評価票

番号	16	枝番号	00	事務事業名	市敬老金支給事業	部名	福祉生活部	課名	長寿福祉課	所属長名	原田 康弘	
基本事項	基本政策	01	ともに支え合い、笑顔輝くあたたかなまち(健康・子育て・福祉)			財務科目	会計	01	一般会計			
	政策	05	いきいきと暮らせる高齢者福祉の充実				款	03	民生費			
	施策	02	高齢者福祉サービスの充実				項	01	社会福祉費			
							目	03	老人福祉費			
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度		昭和34 年度		完了予定年度		未定 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		
事業の対象(誰に対して・何に対して)						事業の目的(どういう状態にしたいのか)						
市内に住民票を有している者で、当該年9月15日現在満77歳・満88歳・満99歳に該当することとなる者						高齢者に敬老の意を表し、長寿を祝福して、敬老金を支給することにより、豊かな長寿社会を図る。						
事業の内容(目的達成のための手段・方法)												
満77歳に5,000円、満88歳に30,000円、満99歳に50,000円を敬老金として、9月1日以降各自治会を通じて支給。												
事務事業の概要	補助・単独		<input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独									
	<input type="checkbox"/> 義務実施事業		根拠法令要綱等									
	<input type="checkbox"/> 努力義務実施事業		根拠法令要綱等									
	<input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業		根拠条例等 西脇市敬老金支給条例									
	<input type="checkbox"/> 単費上乗せ有り(又は の場合)		根拠条例等									
	正規職員が関与すべき法的義務性		<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(該当業務:)									
実施形態		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他()										
		委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)										

総合計画・行動計画 施策シート

総合計画・行動計画 施策シート			優先度		
			<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C
展開方針(年度別事業内容)	平成23年度(参考)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	以降
総事業費	千円	千円	千円	千円	千円
今後の方向性			今後の方向性の具体的内容		
<input type="checkbox"/> 現状どおり継続					
<input type="checkbox"/> 拡充					
<input type="checkbox"/> 改善・見直し					
<input type="checkbox"/> 縮小・廃止					
進捗状況		進捗状況の具体的内容・未着手の理由		市長指示事項等	
<input type="checkbox"/> 計画どおり(以上)進行					
<input type="checkbox"/> 計画よりも遅延					
<input type="checkbox"/> 未着手					
企画政策課意見				行動計画掲載(企画政策課)	
				<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C	

		単位	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額)(A)	千円	9,288	8,839	8,839	8,839	8,839
	特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		9,288	8,839	8,839	8,839	8,839
	事業費(決算額)(A)		8,227				
	特定財源		0				
	一般財源		8,227				
	一般職員所要人員(B)	人	0.04				
	一般人件費[平均給与×(B)](C)	千円	312				
	嘱託・臨時職員所要人員(D)	人	0.00				
	嘱託・臨時人件費[平均賃金×(D)](E)	千円	0				
総コスト[(A)+(C)+(E)](F)	千円	8,539					
受益者負担額(G)	千円	0					
受益者負担率[(G)/(F)](H)	%	0.0%					
活動指標	名称	説明会開催回数	目標値 6回	6回	6回	6回	6回
	実績値	6回					
(目標)	説明	敬老金支給方法説明会開催回数	単価 1,423千円				
	達成度	100.0%					
成果指標	名称	支給人数	目標値 700人	700人	700人	700人	700人
	実績値	679人					
(目標)	説明	敬老金支給人数	単価 12,575円				
	達成度						
成果指標	名称		目標値				
	実績値						
(目標)	説明		単価				
	達成度						

評価実施：平成23年度

1次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 4	事業の必要性 : 1	実施主体の妥当性 : 4
		直接のサービスの相手方 : 3	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 3
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	市敬老金支給事業については、市民にも関心のある事業であり、平成22年度に市外施設入所者等を救済する措置が議論され、市内居住要件を見直しする条例改正を行い、平成23年度から市内に住民登録があり、やむを得ず市外に居住せざるを得ない該当者も支給対象としたところであるため、継続実施と判断する。 平成22年度に「市内居住要件」を見直す条例改正を行い、平成23年度から実施するよう見直しを図った。市民の関心や要望も強いので、当面現状どおり実施する。

2次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 3	事業の必要性 : 1	実施主体の妥当性 : 4
		直接のサービスの相手方 : 3	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 3
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	長寿を祝う事業であり、受け取る側の高齢者や家族にも喜ばれている。 昨年度に支給方法について議論され、支給要件が改善された経緯もあり、当面現状どおりの実施が望ましいと思われる。 今後、高齢化を迎えるにあたり、支給年齢について検討の余地はあると思われる。

3次評価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) :	事業の必要性 :	実施主体の妥当性 :
		直接のサービスの相手方 :	受益者負担の適切さ :	市民ニーズの把握 :
	総合評価	評価結果 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止	判断理由 改善策	